



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第105号(2012年10月31日)



【IKEAが女性の権利問題で謝罪】

スウェーデンの家具販売大手のIKEAはサウジアラビアに出荷された製品カタログから女性の写真を取り除いた問題で謝罪しました。この女性の写真を取り除いた問題についてはスウェーデン政府からも批判を受けていました。

IKEAの製品カタログは世界中に出荷されており、今年は計62種類で約2億部が送られています。基本的には全カタログは同じなのですが、ファッション関連などでは現地にあわせているとされています。

しかし実際には、一部のケースでは文化的な基準に応じてカタログは変更されています。サウジアラビア向けのカタログを標準的なものと比較すると、サウジアラビア向けでは女性の写真が一部削除されています。この問題は当初ストックホルムのフリーペーパーで指摘されていました。

IKEAはこの問題について、自社の価値観にあわないことで、手続きを見直すと発表しています。また、女性の問題の削除はサウジアラビア現地で行われた判断ではないとされています。

サウジアラビアは女性の権利問題について批判を受けることが多く、旅行の禁止、男性の許可なしの就学、就労の禁止、車の運転の禁止などが問題になっています。

実はIKEAのマーケティング用の写真が政治的に問題になったのはこの2週間で2回目です。報道にある通りロシアのパンクグループが反プーチン運動に関連して投獄されたことが問題視されていますが、IKEAのロシアのWebページで使われていた写真が、あたかも当該パンクグループを擁護するととられかねない内容であったとして、この写真を削除していました。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【Doha Bankがロンドン上場を検討中】

時価総額でカタールで5番目に大きいDoha Bankは、2013年までに資本を16億ドル増強させる計画の一環で、ロンドンでの資本調達を検討しています。現状の計画ではGDR(海外株式預託証券)を通じて1/4ほど、残りはライツ・イシューを通じて賄うことが検討されています。

Doha Bankはカタールの他の大手銀行と比べて自己資本の比率が低いとされており、今回調達する資金はその拡充に使われるとされています。

どのような計画であれ、最終的にロンドンで資本調達をする際にはカタールの中央銀行による承認が必要になります。前回2009年にGDRを検討した時は承認がおりませんでした。

Doha Bankの株式の約17%はQatar Investment Authority(QIA)という政府系ファンドに保有されていることから、QIAによる後押しがあればライツによる調達はスムーズになるのではないかと考えられます。

【サウジアラビアの経済成長】

サウジアラビアの運用会社Jadwa Investmentは同国の2012年の経済成長率予想を従来の5.3%から5.8%まで上方修正しました。

同社のレポートによれば、グローバル経済の長引く停滞にも拘らず、原油生産の増加によって同国の経済は堅調だとしています。同社の従前の予想では2012年の原油生産は平均して9.6mbpd(1日当たり、百万バレル)としていましたが、実際の生産量は歴史的に高い水準にあり、4月および6月は10mbpdを超えたとのことです。

原油価格の上昇と生産量の増加によって同国の原油収入は拡大しています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【アブダビでWorld Future Councilの年次総会開催】

11月21日から25日にかけてアブダビでWorld Future Council(WFC)の年次総会が開催されますが、中東で開催されるのはこれが初めてのことになります。

WFCは持続可能な政策立案を通じて将来の世代の意見を主張していく団体ですが、既に何力国かで天然資源を保護する政策、立法化への支援をしています。

WFCの年次の賞では、個人を対象とするのではなく、現在および将来の世代のより良い生活を作り出す政策が選ばれています。たとえば2011年にはルワンダでの国有林についての政策が受賞されています。

【Masdar出資のロンドン・エネルギー・プロジェクトが始動】

アブダビのクリーン・エネルギー企業のMasdarはロンドンのオフショアの風力発電プロジェクトであるLondon Arrayに20%出資しています。アブダビの発表によれば、このプロジェクトで電力の発電が開始されたそうです。

151のタービンが稼働を開始し、残りの24は年末までに稼働するようです。現状では630MW、完全に稼働すれば870MWの発電キャパシティがある巨大なプロジェクトとなります。

London Arrayは洋上20km先にある100平方kmの発電設備です。現状はフェーズ1と呼ばれる段階ですが、フェーズ2では現在建設中の地上の変電所と地下ケーブルを通じて接続されることになっています。

完成すればイギリスの約75万の家庭に十分な電力を供給できるであろうと言われています。

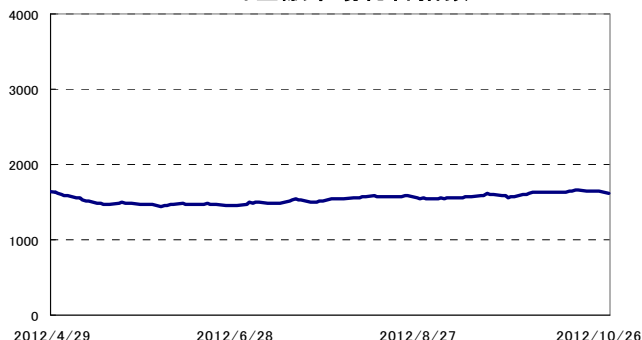


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

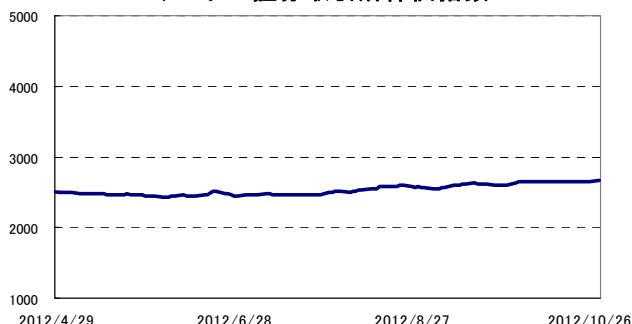


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近6ヶ月)

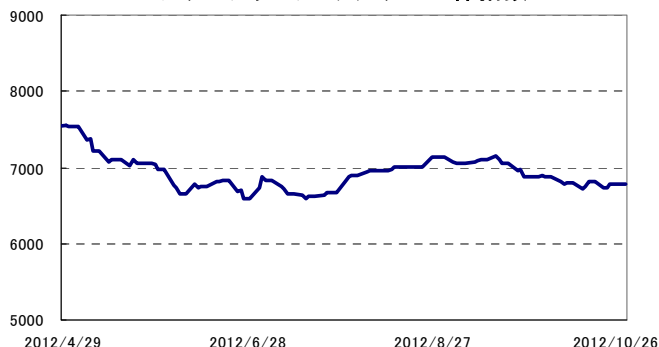
ドバイ金融市場総合指数



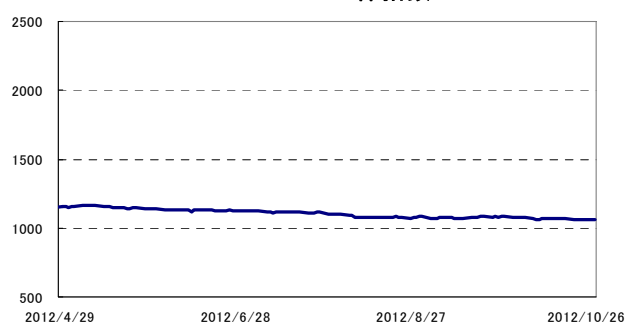
アブダビ証券取引所株価指数



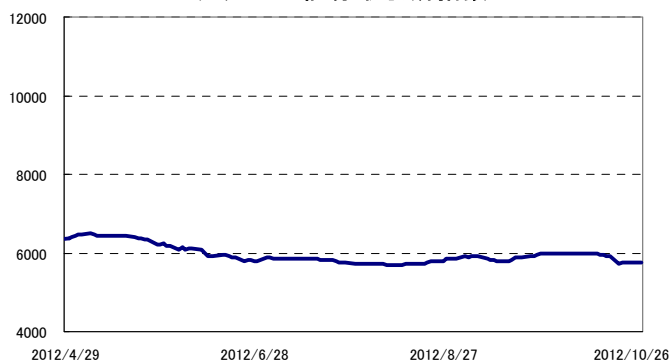
サウジアラビア タダウル全株指数



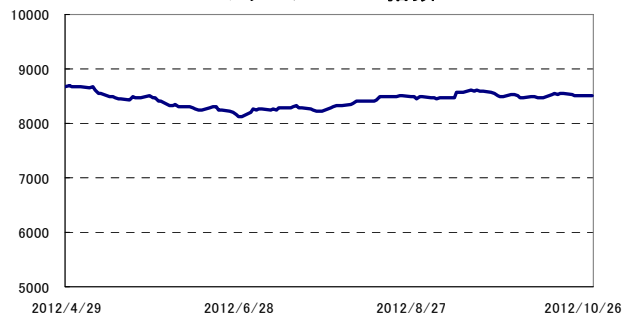
バーレーン全株指数



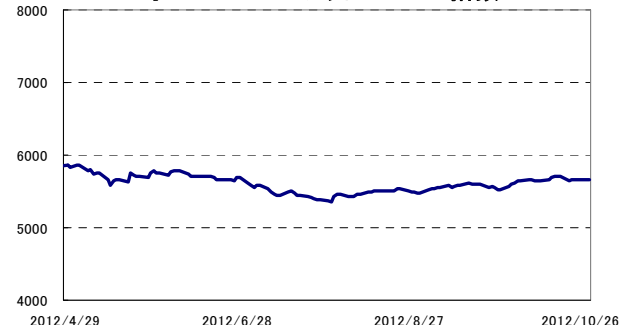
クウェート証券取引所指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。